



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

'22. 12.16
No381

いよいよタブレットが納品・配布されます

町の情報伝達のツールばかりでなく、地域の情報発信として重要な役割を果たしてきたJAの有線放送に代わるタブレットが各戸に配置されます。その状況が報告されました。国の「デジタル社会構築」の掛け声と交付金の活用で、突然出てきたタブレット配布。議会で私も「ケーブルテレビを活用した情報伝達」を提案しましたが、すでに国に申請済み・採択され、事業化が進んでいます。12月13日の全員協議会に進捗状況が報告されました。それによると

- 1, 10. 12 町内2, 708世帯に申込書を兼ねた事前調査書を送付。
- 2, 申込世帯数 1, 400世帯 (12. 13報告現在)
- 3, 受け取り方法 ①宅配便で 978世帯
②役場窓口で 215世帯
③説明会で 207世帯
- 4, 不要と答えた世帯 57世帯 との事でした。「不要」と答えた世帯は主として若い世代で、とのことで「スマホで見られるから」が理由です。
いずれにしても半数近くが受け取りなどについて回答していないため、役場としては、高齢世帯を中心に電話などで聞き取りをするとしています。

【今後のスケジュール】

- ・12.23(金)2625端末を役場へ納品を受ける
〈回線内訳〉ドコモ 2,400回線/au 200回線
Softbank:25回線追加/蟹窪地域の一部地域に。
- ・1月中旬:役場職員などにCMS*説明会
*役場の情報をタブレットに入れ込み方などの機器の使い方講習会
- ・1月下旬~2月中旬/宅配便配送、役場渡し。
- ・2月6日~9日 町内8カ所で説明会実施。
その後申込確認の世帯へ訪問配布を予定。

担当(企画課)では、説明会会場での受け渡し希望が207世帯と少ないことを理由に説明回数を当初の40から8回に変更。業者が説明することを理由に「説明会回数を増やせない」と主張しますが、発注者は町であり、自宅で受け取っても説明会を開いてほしいと思っている町民は多いと思われる。ご意見をお寄せ下さい。

【説明会】

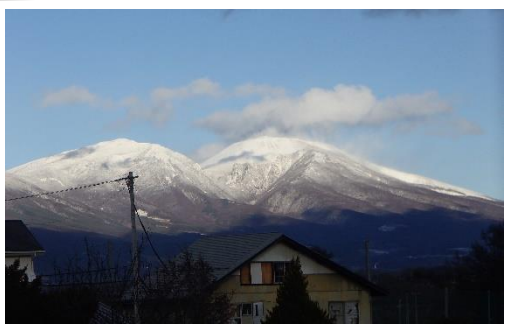
2月8日(月)蓼科出張所 13:30~14:30
茂田井公民館 17:00~18:00

2月9日(火)老人福祉センター
10:30~11:30/13:00~14:00
/15:00~16:00/17:00~18:00

2月10日(水)西塩沢公民館 10:30~11:30
藤沢公民館 14:00~15:00
外倉公民館 17:00~18:00

2月11日(木)山部公民館 10:30~11:30
13:00~14:00
宇山公民館 16:00~17:00

説明会に来られない人には役場職員が個別に対応することを確認しています。



キッパリと 冬が来た

📷 今週のパチリ!

冬が来た
きっぱりと冬が来た
八ツ手の白い花も消え
公孫樹(いちじょう)の木も葉
になつた
きりきりともみ込むような
冬が来た
人にいやがられる冬
草木に背かれ、虫類に逃げ
られる冬が来た
冬よ
僕に來い、僕に來い
僕は冬の力、冬は僕の餌食
だ
しみ透れ、つきぬけ
火事を出せ、雪で埋める
刃物のような冬が来た

冬が来た
高村 光太郎

「教育と愛国」上映会

ご協力ありがとうございました。

立科も14人が参加。パンフ4冊が販売。佐久地域5回の上映で、170人が鑑賞。カンパ3万円。パンフレット30冊が完売でした。

鑑賞後、感想など意見交換をしました。「南京大虐殺」「従軍慰安婦」「強制連行」「集団自決」などの歴史の真実を直視せず、あいまいな記述に変えさせることによって「なかったこと」にされそうな歴代政府の執拗な教科書攻撃。教科書会社の忖度もあり、日本の負の歴史を覆い隠す動きが安倍内閣以来、着々と進められてきたことが丹念な取材により迫ってきました。

【感想文より】

・私は学校の教科書を疑ったことがありませんでした。真実を教えるのが教育で先生達だと思っています。…世界の人々が見る日本を知ることも大切だと思います。真実を知った上で、日本人として誇りをもって生きて居たい。戦争を止められるのは人間、私たち自身です。教育・教科書が人間の考え国を左右することをもっと大勢の人に知って考えてほしいと思います。

・戦後民主主義教育を破壊し、軍国主義教育の復活を狙う政治の動きと実態を告発した、勇気ある優れた作品だと思います。特に教職員に観てもらいたいと思います。

・日本国憲法と1947年教育基本法に体现された理念をバックボーンとして心ある人たち・教職員が子どもたちと共に築いてきた戦後の民主主義教育が今や最大の岐路に立たされているといっても過言ではありません。

それは、戦争する国づくりの動きと軌を一にしています。戦争は突然起こるように見えますが、そうではありません。そのための伏線が着々と敷かれているとみるべきです。今、食い止めなければ、取り返しがつかないことになりかねません。できることを、小さなことでも積み重ねていくしかありませんこの映画を観ること・広めることもその一つでしょう。

子どもの居場所「ポプラ」で マスクホルダーづくり！



紫を基調にした
シックなホルダー



クリスマスシーズン
にふさわしい華やかな
ネックレスにもなる
ホルダー

昨日は、ポプラのお当番。下校後バスを待つ子どもの居場所として、お母さんたちが2、3人交代で、子どもたちを迎えています。昨日はなんと7人もの小中高生が立ち寄ってくれました。お部屋にストーブを付けて、どなたかが持ち込んだ「数珠玉」を使ってネックレスなどを作ってもらいました。お当番の大人はビーズでマスクホルダーづくり。こんな素敵な作品が出来上がり、マスク生活の彩りとして楽しめますね。

12.10 共産党演説会 in小諸

「小諸市議選 暮らしと平和を守る 早川・掛川候補2人を必ず議会へ」



小諸市出身の田村智子参議院議員
・党副委員長 東京から訴え。

統一協会の被害者救済法案を巡り土曜日に異例の国会審議が開催。東京とオンラインでつないでの訴えとなりました。

物価高への対応のためにも「時給1500円」への賃上げが不可欠。

戦争を呼び込む大軍拡やめ、「内部留保に課税し10兆円の財源を作る」。「暮らしを温める政治を一緒に作りましょう。」と訴えました。

藤岡県議候補も「旧統一協会と関係を持っていた自民党・県民クラブ所属議員17人。北佐久・佐久の選挙区では大井・竹花県議。協会と政策協定をして政治をゆがめる県政を変えたい。ぜひお力添えを」「給食費無償化・こども医療費完全無料化など暮らしを守る県政に変えるためにも、ぜひ議会へ送って」と訴え。